



TITLE:

「論文・レポートのための文献収集
講座」開催は大好評のうちに

AUTHOR(S):

CITATION:

「論文・レポートのための文献収集講座」開催は大好評のうちに. 静脩
1997, 33(2): 11-12

ISSUE DATE:

1997-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/37459>

RIGHT:

寄贈者である鈴鹿紀氏、井村総長ほか学内関係者およびマスコミ関係者の出席を得て、展示披露を行った（写真はその模様）。



展示会は「『今昔物語集』への招待—鈴鹿本『今昔物語集』国宝指定記念」と題して、今昔物語集を中心とする第一部と重要文化財指定図書の第二部により構成した。

第一部は『今昔物語集』の成立と「鈴鹿本」の位置づけ、その後の影響など、『今昔物語集』の広大な世界を時代を追って紹介することを企図した。展示資料は鈴鹿本『今昔物語集』のほか、附属図書館、文学部の所蔵する関連資料、他機関所蔵の『今昔物

語集』諸本の写真パネルなどである。

第二部では重要文化財指定図書39点を展示した。平松家本3点、清原家家学書34点、その他2点をそれぞれ1グループとして展示した。

展示目録は解説と写真図版で構成した。

展示会にあわせて電子展示も行うこととし、附属図書館ホームページのコンテンツに加えて、インターネット上で公開し、展示会場にブラウザ端末を設置した。また、鈴鹿本については、全文のイメージと翻刻による「www 版鈴鹿本『今昔物語集』」を作成して、電子展示画面とリンクした。これらは展示会終了後も引き続いて公開されている（URL：<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/exhibit/konjaku>）。

来観者へのアンケートで興味深い展示資料としてあげられたのは、やはり国宝・鈴鹿本『今昔物語集』が多かったが、万葉集（尼崎本）清原家家学書などもあげられていた。展示の感想としては、「わかりやすかった」「ゆったりしていた」「系統的にならべられていて工夫がみられた」などの意見も寄せられた。文字資料が多く色彩的には地味であったが、資料の魅力は十分に観覧者に伝えられたと思われる。

（雑誌・特殊資料掛）



「論文・レポートのための文献収集講座」開催は大好評のうちに



附属図書館において、前号でお知らせしたように、下記のように中級オリエンテーション「論文・レポートのための文献収集講座」を開催しました。

開催日時

1 週目…10月 7—8 日 12:10~12:55

2 週目… 14—16 日 15:00~15:45

場所：附属図書館 3 階 AV ホール

講座の内容は、主として学部生を対象とし、レポート・論文を作成する時に、図書館を使って、自分の調べたいテーマに関する資料をどのように探したらよいのか、京大にない場合はどのように入手したらよいのかについて説明いたしました。図書の場合、雑誌の場合、新聞・学位論文等の特殊資料の場合について、それぞれ附属図書館 1 階備え付けの参考図書や CD-ROM を駆使して調べる方法を具体的に説明しました。

このような利用案内は、昨年度までは新学期当初

に新入生を対象に行うオリエンテーションの中で簡単に行っていましたが、時間の制限もあり、大変不十分でしたので、今年度からは内容を文献の探し方に限定して充実させ、秋に行うことといたしました。

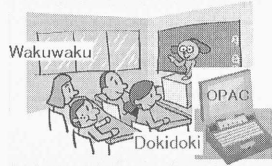
初めての試みで、どのくらいの方に来ていただけたのか心配でしたが、連日多くの方の参加を得、熱心に受講する顔が見られました。

参加者数は468名で、そのうち360名の方からアンケートの回答が寄せられています。回答内容から抜粋して紹介しますと、参加者は、4 回生が一番多く103名、続いて 3 回生68名、修士大学院生62名の順となっています。



附属図書館すてき企画

●新入生図書館オリエンテーション●



来て、見て、使って

新入生の皆さんをお迎えして、図書館の利用方法や図書・雑誌の検索方法をお知らせします。
図書館を大いに活用してキャンパス・ライフにお役立てください。
第一部、第二部それぞれ同じ内容でも回すつ開催しますので、ご都合のいい時においでください。

第一部 附属図書館の利用案内

日時：下表の1の時間帯
場所：附属図書館3階A/Vホール
内容：
1. 附属図書館の設備の案内
2. 利用証・貸出・返却・予約・更新等の利用方法の説明
3. カード目録とOPACについて

第二部 OPAC(資料検索端末)の使い方

日時：下表の2の時間帯
場所：附属図書館1階 カウンター前
内容：OPACの使用法説明と実習

*OPAC(オーバック)は学内の図書や雑誌を検索するシステムです。

日程表	4/21(月)	4/22(火)	4/23(水)	5/14(水)	5/15(木)	5/16(金)
12:15~12:45	① 利用案内	② OPAC	① 利用案内	② OPAC	① 利用案内	② OPAC
15:00~15:30	② OPAC	① 利用案内	② OPAC	① 利用案内	② OPAC	① 利用案内

参加は自由
事前の申し込みは不要です。
どなたでもご都合のよい時にご参加ください。
新入生以外の方でも参加できます。

お問い合わせ先 附属図書館 参考調査掛 (075-753-2836)
E-mail: tuzuki@kui.lib.kyoto-u.ac.jp

1997年 春 京都大学附属図書館

この講座の開催を知ったのは、館内に掲示したポスターを見てという方が最も多かったのですが、今回初めてネットニュースやインターネットホームページ等の電子媒体でのお知らせも試みました。今後とも、普段図書館に来ておられない方にも広くお知らせしていきたいと思っています。

受講して役に立った内容としては、雑誌文献の探し方が最も多く234名でした。他に、図書の探し方、図書・雑誌以外の資料の探し方、相互利用の方法がそれぞれ同じくらいの方が役に立ったとされています。

講座の実施時間帯はほとんどの方(90.0%)がちょうどよいとされています。講座の長さは、適当(71.1%)、開催の時期はこのままでよい(63.6%)という意見がほとんどでしたが、実施時期をもっと前に、春から夏休み前に持ってきてほしいという意見もありました。次年度以降の実施計画をたてる際の参考にしたいと思います。

他にどのような講座を希望するかについては、OPAC、CD-ROM、インターネットのような電子関連の機器を使った検索の講座、実習形式の講座、ジャンル別のより詳細な文献収集講座等への希望がありました。

その他、図書館に対する要望もたくさん書かれていました。それぞれ検討して今後の参考にしていきたいと考えています。

(参考調査掛)



■CD-ROM ネットワークサーバシステムに PsycLIT(心理学行動科学文献情報)追加



標記 CD-ROM データベースの吉田地区へのネットワーク提供を平成9年1月から開始しました(本号「PsycLITのネットワーク利用について」もご覧ください)。

【利用法】

申請

・附属図書館⑦カウンター(参考調査)、文学部図書室(哲・文)、教育学部図書室および総合人間学部図書館に備えてある「利用申請願」を、附属図書館参考調査掛まで学内便等で提出してください(申請時には電子メールアドレスをお知らせください)。折り返し電子メールで、接続先 IP アドレス、利用のための User-ID および Password を通知いたします。

検索ソフト

・専用検索ソフト(Macintosh 用、Windows 用など)は、KUINS の anonymous ftp などにより入手してインストールしてください。telnet による利用(検索ソフト不要)及び internet(www)からの検索も可能です。

internet からの接続は附属図書館のホームページから、「CD-ROM 検索」のアイコンをクリックすると検索が開始できます。ただし、User-ID と Password は必要になりますのでご注意ください。

附属図書館からの利用

・学部生など利用登録者以外の方も、附属図書館1Fの専用クライアント(医学情報 Medline 等と兼用)で検索できます。

(参考調査掛)



■“access.txt—文献調査・利用ガイド(第1版)”の刊行を計画



「access.txt—文献調査・利用ガイド」(第1版)を刊行します。昨年度末に発行した beta Version に、今年度新たに受けた参考質問とその回答を追加したもので、全体の構成は以下に記しますように第一部と第二部にわかれています。